

別府港再編計画(素案)の概要

1. 別府港の現状と課題

現状

- ・フェリーが2航路・7便/日発着
- ・別府市街地に隣接
- ・路線バスの乗継ぎへの利用者の不満が多い
- ・2つのフェリーターミナルが分散・老朽化
- ・大阪港航路の就航船の更新時期が到来

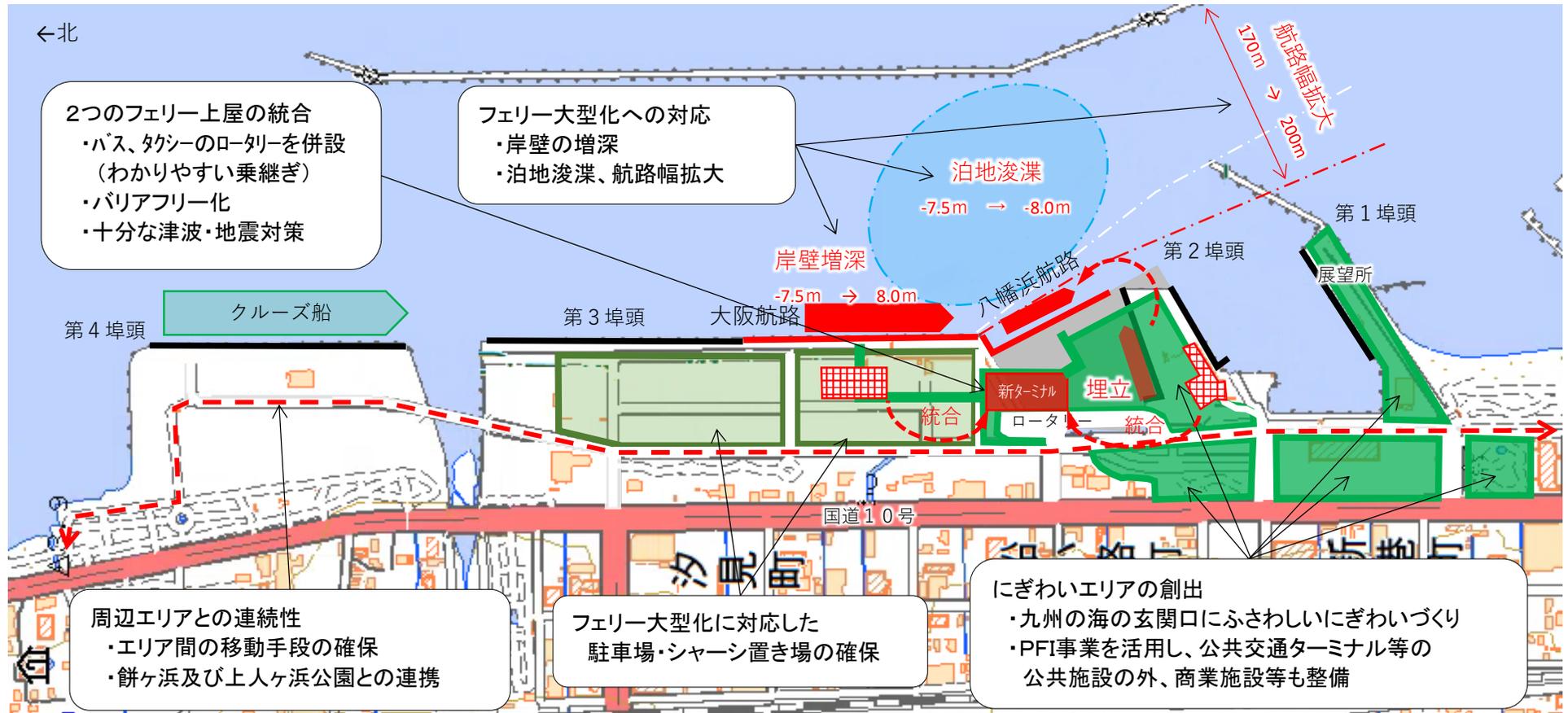
課題

- ・フェリーの利用促進
- ・九州の海の玄関口としてのにぎわい整備
- ・二次交通の利便性改善
- ・フェリー上屋の再編
- ・船の大型化に対応した港湾機能の強化

2. 目指すべき将来像(コンセプト)

- ①九州の海の玄関口としてにぎわう港
- ②快適なフェリー上屋
- ③他の交通機関への円滑な乗継ぎ
- ④フェリー利用者、県民、観光客が、食事、買い物、散策等を楽しめる港

3. フェリーターミナル港としての機能強化

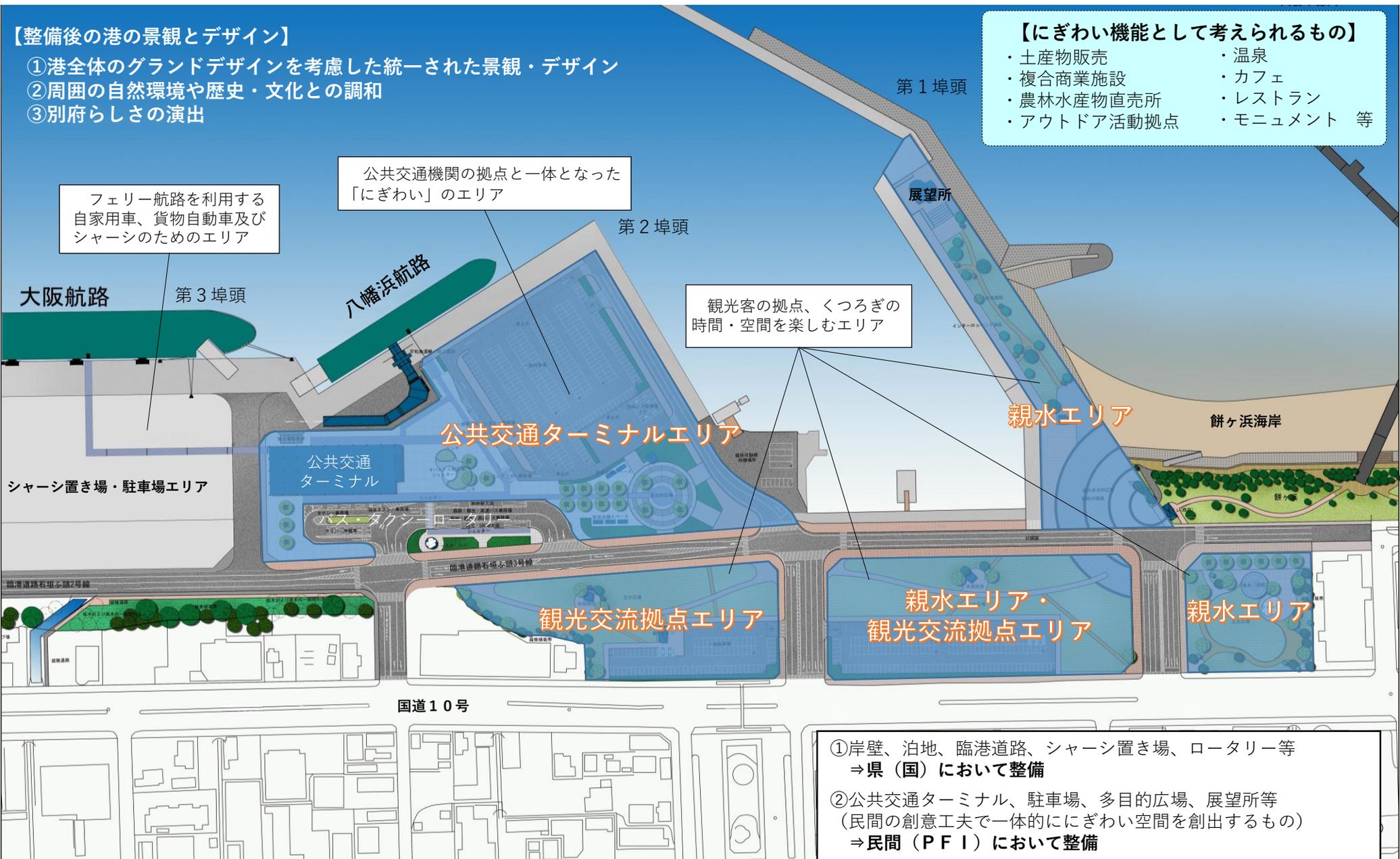


4. にぎわいの創出（にぎわい施設の整備及びにぎわいの取組の実施）

【整備後の港の景観とデザイン】

- ①港全体のランドデザインを考慮した統一された景観・デザイン
- ②周囲の自然環境や歴史・文化との調和
- ③別府らしさの演出

- 【にぎわい機能として考えられるもの】
- ・土産物販売
 - ・温泉
 - ・複合商業施設
 - ・カフェ
 - ・農林水産物直売所
 - ・レストラン
 - ・アウトドア活動拠点
 - ・モニュメント 等



フェリー航路を利用する
自家用車、貨物自動車及び
シャシーのためのエリア

公共交通機関の拠点と一体となった
「にぎわい」のエリア

観光客の拠点、くつろぎの
時間・空間を楽しむエリア

- ①岸壁、泊地、臨港道路、シャシー置き場、ロータリー等
⇒**県（国）**において整備
- ②公共交通ターミナル、駐車場、多目的広場、展望所等
（民間の創意工夫で一体的ににぎわい空間を創出するもの）
⇒**民間（PFI）**において整備

※この図はイメージ図であり、実際は、提案競技により選定された民間事業者の案に基づいて整備します。

縮尺（A1-1：1,000）